



# ゆずり葉だより

編集・発行 / 逆瀬台小学校区まちづくり協議会(ゆずりはコミュニティ)事務局・広報(発行部数)4,400部  
 〈住所〉〒665-0024 宝塚市逆瀬台6丁目1番1号 宝塚市立逆瀬台小学校内  
 〈メール〉yuzurihacom@a.zaqq.jp 〈連絡先〉石谷 TEL 20-5054  
 〈掲示板〉http://8507.teacup.com/yuzuriha/bbs (自由投稿版)  
 〈ブログ〉http://www.voluntary.jp/weblog/myblog/230  
 〈ホームページ〉http://yzrh.exblog.jp/ 〈TEL/FAX〉0797-73-8839

でく、い、  
健明樂まちづくり  
くるしづく  
まちづくり



ゆずり葉コミュニティ  
ブログ・QRコード

秋 第97号

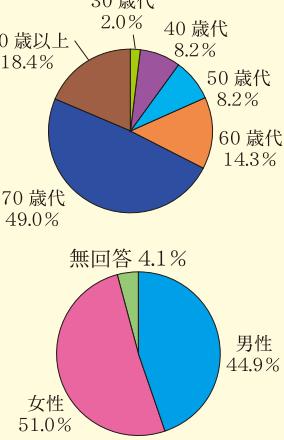


## 【ご回答者属性】

年齢	年齢	割合
19歳以下	0	0.0%
20歳代	0	0.0%
30歳代	1	2.0%
40歳代	4	8.2%
50歳代	4	8.2%
60歳代	7	14.3%
70歳代	24	49.0%
80歳以上	9	18.4%
無回答	0	0.0%
計	49	

性別	性別	割合
男性	男性	44.9%
女性	女性	51.0%
無回答	無回答	4.1%
計	49	



## ・実施月：2019年6月

- ・アンケート回答者：ゆずり葉コミュニティ役員、民生児童委員、サロン代表者、小学校ゆずりは会等49名。
- ・アンケート作成・集計ご協力：OMコンサルタント様

お願い申し上げます。  
 申しげりありませんが、ご了承ください。お手伝い申しげります。

意見をまとめたり、多少変えて書いてあります。また、紙面の都合でやむを得ず書き切れなかつたご意見もあります。申し訳ありませんが、ご了承ください。

そして今回「まちづくり計画」の更なる充実を図る為に、色々なコミュニティの活動に関わる方々に、活動の現状や課題、提案等について、次のようなアンケートを実施致しました。(ご回答いただきたい内容は、要約するため、同じようなご意見をまとめたり、多少変えて書いてあります。また、紙面の都合でやむを得ず書き切れなかつたご意見もあります。申し訳ありませんが、ご了承ください。お手伝い申しげります。)

「逆瀬台小学校区のまちづくりに関するアンケート」のまとめ

## 1 現在活動していく困ったことは？

### 心配なことは？

高齢化問題・・当地域全体が高齢化（65才以上45%）

○独居老人も増加し見守り強化が必要。しかし高齢者世帯が年々増えすぎて、訪問が充分できない。

○高齢化による買い物難民増加・・買い物支援、外出機会の創出、健康体力維持が必要。

○活動の担い手の高齢化・・若い人の就労が増え、役員及び推進役の後継者が見つかりにくい。

○活動の参加者の高齢化・・サロン、イベント、老人会への参加者減。若い年齢層の参加が少ない。どの世代にも魅力あるまちにして、老若男女が安心して、楽しく満足した生活を送れるまちづくりをどう進めていくかが大きな課題。

○民生委員は守秘義務がある為、自治会の方等と、どの程度情報を共有できるのかが大変難しい。

○登校時に比べ下校時の見守りが少ない。午後3時～夕刻にかけて特に人通りや車通りの少ない地域の見守りがあると安心。散歩をしてくれるだけでもいい。

○逆瀬台3丁目と2丁目の交差点（逆瀬台小学校への登り口）の交通量が増え、対策が必要。

○地域課題解決の障壁・・①予算面②全体的な意見の一一致が得にくい。

○住民の関心度の低下

## 2 当地区的地域の課題や問題点、課題解決の提案・アイデアはありますか？

### 高齢者・福祉

○高齢者がバスで出かけやすいようにする。・・バス停間の距離が長い所は、中間にバス停増設してほしい。

### 2 当地区的地域の課題や問題点、課題解決の提案・アイデアはありますか？

### 防犯・防災

○高齢者の施設入所や入院中で空き家が増え、草木が生い茂り、放火や防犯上心配・・市へ調査を依頼。

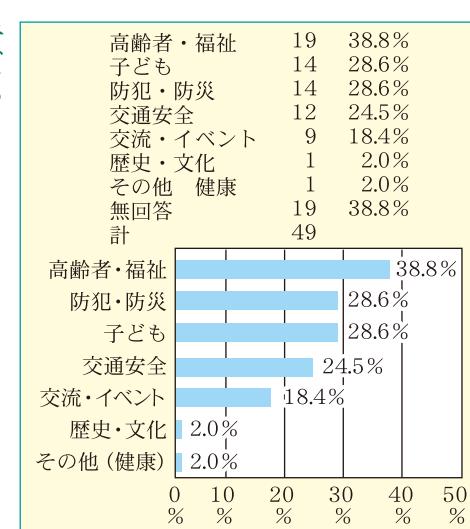
○防犯、空き巣の被害・・防犯カメラ設置を市や県が積極的に行っていくよう働きかける。

○土砂災害への対応、道路の維持補修・・あり。

○自然災害が多くなってきてるので心配・・防災訓練・研修会を継続実施。

### 交流・イベント

○公園を高齢者から子どもまでがもつと利用できるようにする。・・公園にて



## 3 地域の活動や暮らしの中で「あつたらいいな」「やりたいな」ということは？

○地域の人が、世代に関係なく気軽に立ち寄れる場、例えば「地域食堂」や「空き家利用のイベント」等。

○その場では、テーマに関する発言内容は自由であり、人や人の意見を批判しないことを原則とする。

○「課題」を決めて話し合い、解決の糸口を探る「場づくり」が必要。

○検討会を作り外に発信していく。重要度に応じて順次解決に向け活動。先進事例によるモデル地区を設け、話し合った結果を自治体へ提案、申請する。若い人(世帯)がもう少し自治会活動に関心を持つよう企画も含め、皆で考えたい。

○その場では、テーマに関する発言内容

は自由であり、人や人の意見を批判しないことを原則とする。